

第二高等学校 2 学年「現代文B」シラバス (5月分) **普通科・S・A共通**

1. 単元 小説I 山月記

<p>2. 単元の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の舞台や時代をイメージできるようにする。 ・作品独特のリズムと文体を味わう。 ・登場人物の人間関係と性格を把握する。 ・場面の展開と登場人物の心理をつかむ。 ・特徴のある表現とその効果を理解する。 ・登場人物の心理の変化を捉える。 ・漢詩の意味を捉え、作中での役割を把握する。 	<p>3. 評価規準</p> <p>【話す・聞く能力】</p> <p>②発問を主体的に考えると同時に、相手の意図を考え聞くことができる。</p> <p>【書く能力】</p> <p>③予習を通して自分の考えをまとめ、講義や資料を使って文章化する。</p> <p>【読む能力】</p> <p>④目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>⑤音声や文字・語句・言葉遣いなどの、国語についての基礎的な事項や、日本文化について理解する。</p>
<p>3. 評価規準</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①作品に関する関心を持ち、意欲的に調べたり、書いたりして語彙力を高める。</p>	

4. 授業計画

学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
山月記 第一段	1	・教科書 P26～P37 全文を読み、感想をノートにまとめる。 ・わからない語句を調べ、ノートにまとめる。	・ノート等に記入し、後日配布するプリントに記入し、提出する。	①③
	2	・教科書 (第一段) P26～P27 5 行目を読む。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (1) を聞く	・学習プリントへの記入。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (1) の「理解度チェック」による振り返り。	②④
山月記 第二段 第三段	3	・教科書 (第二段) P27 6 行目～P29 1 行目を読む。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (2) を聞く。	・学習プリントへの記入。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (2) の「理解度チェック」による振り返り。	②④
	4	・教科書 (第三段) P29 2 行目～P31 13 行目を読む。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (3) を聞く。	・学習プリントへの記入。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (3) の「理解度チェック」による振り返り。	②④
山月記 第四段	5	・教科書 (第四段) P31 14 行目～P33 15 行目を読む。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (4) を聞く。	・学習プリントへの記入。 ・NHK 高校講座 (ライブラリー現代文) 山月記 (4) の「理解度チェック」による振り返り。	②④
山月記	6	・教科書 (第四段) までの振り返りを行う。		⑤

第二高等学校 2 学年「古典B」シラバス (5月分)

普通科理系・S・A

1. 単元 歌物語「伊勢物語 (初冠)」・小話「十八史略 (創業守成)」
 随筆「枕草子 (中納言参り給ひて)」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品と作者への興味関心を深め、各章段の内容や趣向を読み取る。 <p>【読む能力・書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物とその会話の内容を読み取る。 ・作者の当意即妙な言葉と、隆家との関係性について読み取る。 <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語法について理解を深める。 	<p>【知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歌物語や随筆について理解を深めることができたか。 ②平安時代の文化について理解を深めることができたか。 <p>【読む能力・書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③会話主とその内容を読み取ることができたか。 ④この出来事を記した作者の心情について把握することができたか。 <p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤文法的に正確な解釈ができたか。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	「初冠」 「創業守成」 (4月の課題:継続)	1	・教科書を読み、 辞書や文法書を活用しながら、 解釈をしていく。 ・演習問題に取り組む。	課題プリントによる確認	① ② ⑤
第2回	「初冠」 「創業守成」 (4月の課題:まとめ)	2	・演習問題に取り組む。 ・解答例と自身の解答との差について思考を深める。 ・配信教材の視聴	課題プリントによる確認	③ ④ ⑤
第3回	「中納言参り給ひて」	3	・NHK高校講座の聴取 ・教科書を読み、 辞書や教科書を参考にしながら、 解釈をしていく。	課題プリントによる確認	① ②
第4回	「中納言参り給ひて」	4	・NHK高校講座の聴取 ・辞書や教科書を参考にしながら、 解釈をしていく。 ・敬語法の学習に取り組む。	課題プリントによる確認	③④ ⑤
第5回	「中納言参り給ひて」	5	・NHK高校講座の聴取 ・敬語法の学習に取り組む	課題プリントによる確認	③④ ⑤
第6回	「中納言参り給ひて」	6	・敬語法の学習に取り組む。 ・演習問題に取り組む。	課題プリントによる確認	③④ ⑤

第二高等学校 2学年「世界史A」シラバス (5月分)

1. 単元 ヨーロッパの主権国家体制

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>①ヨーロッパ諸国が国内の支配を固め、独立した主権国家として対立と妥協を繰り返しながら、一つの国際秩序(主権国家体制)が形成されたことを理解する。</p> <p>②世界の一体化の進展の中で、西欧ではイギリス革命などに代表される近代市民社会への歩みが始まる一方、東欧は経済的に西欧に従属し、封建的な社会が強化され近代化が遅れたことを理解する。</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>①該当箇所の理解ができたことを整理ノートで確認する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②授業回ごとの配信課題での論述問題への取り組みで確認する。</p> <p>【資料活用の技能】</p> <p>③図説の年表や地図、歴史史料を活用し、歴史事項について理解を深め、配信課題で確認する。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>④歴史的事項に関心を持ち考察を深めたか、整理ノート及び配信課題への取り組み状況で確認する。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	主権国家体制の成立 ／イタリア戦争／スペインの全盛	1	教科書p.64～65 整理ノートp.120～121 図説p.164～165	整理ノート 配信課題	① ②③④
第2回	オランダの独立とイギリスの海外進出／フランスの絶対王政	1	教科書p.65～67 整理ノートp.122～123 図説p.164～168	整理ノート 配信課題	①④ ②③④
第3回	17世紀の危機と三十年戦争／東ヨーロッパの新しい動き	1	教科書p.68 整理ノートp.124～125 図説p.169・172～174	整理ノート 配信課題	①④ ②③④
第4回	重商主義政策／イギリス革命	1	教科書p.65～66 整理ノートp.126～127 図説p.164～166	整理ノート 配信課題	①④ ②③④
第5回	イギリス議会政治の確立／ルイ14世の時代	1	教科書p.66～67 整理ノートp.128～129 図説p.167～168	整理ノート 配信課題	①④ ②③④
第6回	プロイセンとオーストリア／ロシアの発展／ポーランド分割	1	教科書p.68～69 整理ノートp.130～131 図説p.169・172～175	整理ノート 配信課題	①④ ②③④

第二高等学校 2学年「日本史A」シラバス (5月分)

1. 単元 開国と明治維新

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の富国強兵政策の内容を理解する。 ・明治初期の国際情勢と政府の外交政策を理解する。 ・明治政府の殖産興業政策や文明開化の様相を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の近代化政策の特徴やその背景を考える。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①明治政府の富国強兵政策の内容を理解できる。 ②明治初期の国際情勢と政府の外交政策を理解できる。 ③明治政府の殖産興業政策や文明開化の様相を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④明治政府の近代化政策の特徴やその背景を説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	富国強兵	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読む。 ・授業整理ノートを演習する。 ・NHK高校講座を見て理解を深める。 ・整理ノートを復習する。 ・オンラインによる質問受付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Classiによる確認テスト ・整理ノートの演習状況 	① ④ ⑤
第2回	明治初期の外交	3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読む。 ・授業整理ノートを演習する。 ・NHK高校講座を見て理解を深める。 ・整理ノートを復習する。 ・オンラインによる質問受付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Classiによる確認テスト ・整理ノートの演習状況 	② ④ ⑤
第3回	殖産興業と文明開化	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読む。 ・授業整理ノートを演習する。 ・NHK高校講座を見て理解を深める。 ・整理ノートを復習する。 ・オンラインによる質問受付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Classiによる確認テスト ・整理ノートの演習状況 	③ ④ ⑤

熊本県立第二高等学校 2 学年「地理A」シラバス (5 月分)

1. 単元 第1編 現代世界の特徴と動向 第1章 地球儀や地図からとらえる世界

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>① 水陸分布, 大陸間の方位, 距離, 位置関係, 時差の生じるメカニズムについて考察することで, 球体としての地球の姿を把握する。</p> <p>② 世界地図は球体を平面にしているゆえに歪みが生じ, そこからさまざまな投影法が開発されてきたこと, 地図は用途に応じて適切な図法を用いることを理解する。</p>	<p>① 【関心・意欲・態度】 地球儀と世界地図から地球に対する関心と課題意識を高め, それらを意欲的に追究し, とらえようとしている。</p> <p>② 【思考・判断・表現】 地球の水陸分布, 地図上の世界, 時差について, 地域性や日常生活との関連をふまえて考察している。</p> <p>③ 【資料活用の技能】 地球儀やさまざまな図法の地図を収集し, 地球上の位置や時差について, 有用な情報を読み取っている。</p> <p>④ 【知識・理解】 地球儀と地図との違い, 図法の特徴, 地球上の位置や時差についての基本的な事柄を理解し, 知識を身に付けている。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	地球儀と世界地図からとらえる地球	1	教科書 P8~P9 『地球儀からとらえる地球』 要点ノート P4~P7 地理資料 P18~P20	・要点ノートの取組状況	③
第2回		1	教科書 P10~P11 『地球は動いている』 要点ノート P8 地理資料 P16~P17	・要点ノートの取組状況	②
第3回		1	第1回、第2回の授業まとめ NEWCOM-PASS ノート P4~P9	・NEWCOM-PASS ノートの取組状況	①④
第4回	さまざまな地図とその果たす役割	1	教科書 P168~P171 『主題図の作成』 教科書 P168~P171 を参考にして, 主題図を完成させる	・白地図作成	②
第5回		1	教科書 P162~P167 『様々な地図とその役割』 要点ノート P10~P12 地理資料 P24~P29	・要点ノートの取組状況	③
第6回		1	第4回、第5回の授業まとめ NEWCOM-PASS ノート P10~P11	・NEWCOM-PASS ノートの取組状況	①④

備考：要点ノート、NEWCOM-PASS ノートの提出については後日指示します。

第二高等学校 2 学年「数学Ⅱ（数学 A）」（美術科）シラバス（5 月分）

1. 単元 1 年生の復習「2 次関数～2 次不等式」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の変化について理解し、基礎的な技能を習得する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 次関数について、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりする。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 論理を組み立てることができる。 ② グラフをかき、変化を読み取ることができる。 ③ 計算を上手におこなうことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 2 次関数について、事象を数学的に処理する仕方や論理展開の流れを捉えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容		評価方法	評価規準
		チャート式			
第 1 回	関数の値	p. 107～111	61, 63, 65	後日にノート提出 自己採点	①
第 2 回	2 次関数をかく	p. 117～121 Classi 配信	69, 71, 73		① ②
第 3 回	2 次関数の最大値最小値	p. 124～128 Classi 配信	75, 77		① ②
第 4 回	2 次関数の最大値最小値	p. 130～134 Classi 配信	79, 81		① ②
第 5 回	2 次関数の最大値最小値と応用	p. 136～138 Classi 配信	83, 85		① ②
第 6 回	2 次関数の決定	p. 140～143 Classi 配信	87, 89		① ③
第 7 回	2 次関数の決定～2 次方程式	p. 145～154 Classi 配信	91, 93, 95		① ③
第 8 回	2 次方程式の解	p. 156～158 Classi 配信	97, 99		①
第 9 回	2 次方程式の解の個数	p. 163～165 Classi 配信	101, 103		①
第 10 回	放物線と直線の交点の個数	p. 168～174 Classi 配信	105, 107		①
第 11 回	2 次不等式	p. 176～180	109, 111, 113		①③
第 12 回	2 次不等式	p. 183～187	115, 117, 119		①③

熊本県立第二高等学校 2 学年「地学基礎」シラバス（5 月 7 日～5 月 15 日分）

1. 単元 (1) 地球の概観

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球の形の特徴について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を繰り返す。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①地球の形の特徴と大きさについて理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	固体地球の表面	<ul style="list-style-type: none"> NHK 高校講座「第 18 回～地球の形と大きさ～」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 教科書 P 4～5 を読む。 Navi&トレーニング P 2 1、P 3 の問題番号 1 を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> Classi の web テスト Navi&トレーニングの内容を用いる。 定期考査 	①
第 2 回	地球の形	<ul style="list-style-type: none"> 教科書問 P 6～7 を読む。 Navi&トレーニング P 2 2～4、P 3 の問題番号 2、3、4 を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> Classi の web テスト・振り返りアンケート Navi&トレーニングを用いる。 定期考査 	②⑤

1. 単元 Lesson1 Beyond Words
Lesson2 Stay Hungry, Stay Foolish

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非音声的言語が文化によって異なることを理解する。 ・スティーブ・ジョブズが人生において得た教訓を理解する。 ・助動詞+完了形、受動態の動名詞、付帯状況を表す with+A+B、複合関係詞、S+V(be 動詞)+C(that 節)、be 動詞+to 不定詞について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非音声的言語について自らの経験を表現する。 ・スティーブ・ジョブズの得た教訓について考えたこと、また自らが得た教訓について表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①文化による非音声言語の違いを理解することができる。 ②スティーブ・ジョブズが得た教訓を理解できる。 ③助動詞+完了形、受動態の動名詞、付帯状況を表す with+A+B、複合関係詞、S+V(be 動詞)+C(that 節)、be 動詞+to 不定詞を運用して表現することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ④非音声的言語について自らの経験を表現できる。 ⑤スティーブ・ジョブズの得た教訓について考えたこと、また自らが得た教訓について表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	Day1 本文の概要把握 英問英答	1	・「Day1」動画視聴 ・解説プリントを読む。 ・教科書P22～23を読む。	ワークシートの取組状況	①
第2回	Day2 本文の要約	1	・「Day2」動画視聴 ・解説プリントを読む。 ・教科書P22～23を読む。	ワークシートの取組状況	①
第3回	Day3 文法のポイント 文構造についての理解	1	・「Day3」動画視聴 ・解説プリントを読む。 ・教科書P22～23を読む。	・ワークシートの取組状況 ・classiによる確認テスト	③④ ①③ ⑥
第4回	① 本文の概要把握	1	・動画視聴 ・解説プリントに取り組む。 ・教科書P34～35を読む。	・ワークシートの取組状況	②③
第5回	② 表現活動	1	・動画視聴 ・解説プリントに取り組む ・教科書P42～45を読む。	・ワークシートの取組状況 ・classiによる確認テスト	⑤ ②③ ⑥

評価について

classi の web テスト・アンケート等の解答を用いる。
登校日に提出する、ワークシートの内容を用いる。

第二高等学校 2学年「保健」シラバス(5月分)

単元名	授業回数	実施日	項目名	学習のねらい	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
1単元 現代社会と 健康	1	4/20~	大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などとしての学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について、資料等で調べたことをもとに、課題を見つけたり、整理するなどのして、それらを説明することができる。	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	2	4/27~	水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解し、説明することができる。	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などとしての学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	3	5/4~	健康被害の防止と環境対策	環境汚染の防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について理解し、説明することができる。	環境汚染の防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について、話し合いや意見交換などとしての学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	環境汚染の防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について、学習したことを個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類、分析するなどして、それらを説明することができる。	環境汚染の防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	4	5/11~	環境衛生活動のしくみと働き	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備と尿の処理について理解し、説明することができる。	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備と尿の処理について、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備と尿の処理について、資料等で調べたことをもとに、課題を見つけ、整理するなどして、説明することができる。	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備と尿の処理について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
	5	5/18~	食品衛生活動のしくみと働き	食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。	食品の安全性、行政、生産・製造者による衛生管理について、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	食品の安全性、行政、生産・製造者による衛生管理について、学習したこと社会生活事例などと比較、分類し、それらを説明することができる。	食品の安全性、食品の安全にかかわる行政の役割、製造・加工者によるHACCPなどの衛生管理について、基礎的な事項を理解している。
	6	5/25~	食品と環境の保健と私たち	食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について理解し、説明することができる。	食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について、学習したことを、社会生活事例などと比較、分析しそれらを説明することができる。	食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

三原 学さんの保健授業動画を見て教科書を進める。

準備物: 現代高等保健体育教科書 現代高等保健体育ノート
YouTube が視聴できる機器

1. 教科書を熟読する。
2. 動画を見ながらポイントを理解する。
3. ホワイトボードの板書内容を、保健ノートの右側に書き写す。
(ただし、書き写すだけでなく自分なりに教科書をまとめる)
4. ノートの左側を解答する。

検索方法

YouTubeを開き、「保健体育 三原 高校」で検索する。

熊本県立第二高等学校 2 学年美術科シラバス(5 月分)

1. 単元 (5, 6 月の 2 ヶ月で専門領域を履修予定)

- ①デザイン、構成 「お菓子のパッケージデザイン」
- ②素描、彫刻 「手と幾何形体の構成デッサン」
- ③絵画「季節の形」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的なものの見方、考え方を働かせ構成する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な諸要素について考え、ねらいを明確にして表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人を楽しませようとするサービス精神、対象を追求する観察力を身につける。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デザイン、構成：ロゴとモチーフの描写が適切に表現できた。 ②素描、彫刻：人体やモチーフの構造間や質感が表現できた。 ③絵画：季節をテーマに適切なモチーフを選択し、その特徴を描写した <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③コンセプトが見る者に明快に伝わる構成である。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④デザイン、構成：選んだ商品のらしさがあり、皿のその新しい魅力を引き出している ⑤素描、彫刻：人体とモチーフの対比を効果的に構成している。 ⑥日本画の下図であることを理解し、魅力的な画面構成を意識して制作できた。

3. 資料 「学習設計マニュアル」※1 年次に使用

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	デザイン、構成 「お菓子のパッケージデザイン」	12	(1) 好きなお菓子を一つ選ぶ。そのお菓子の広告をイメージして構成する。 (2) そのパッケージの「お菓子のロゴ」と「そのお菓子そのものの細密描写」を組み合わせ構成する。適宜ほかのモチーフを入れてよい。 (3) B 3 ケント紙。縦横自由。白は白絵の具で塗ること。	作品 コンセプト	① ③ ④ ⑤
第 2 回	素描、彫刻 「手と幾何形体の構成デッサン」	6	(1) 手と任意のモチーフ一つを選び構成して、鉛筆デッサンする。 (2) B 3 画用紙 縦 (3) モチーフは自由だが、球、直方体、立方体、円筒形、三角錐など幾何形体がベースになっているもの。	ワークシートの提出	③
第 3 回	絵画「季節の形」	9	(1) 自分が好きな季節をテーマにモチーフを選び、日本画制作の下図となることを想定して水彩画で描写する。 (2) 画用紙を各自で水彩画にカットする。縦横自由。 (3) 絵の具は水彩絵の具であればなんでもよい。透明水彩があればベター (4) 背景は着色してもそのままでもよい。		② ③ ⑤

第二高等学校 2 学年「GR及びAS (情報分野)」シラバス (5 月分)

1. 単元 問題解決とコンピュータの活用

2. 単元目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りから具体的な問題を発見する。 ・問題解決のため情報収集や整理を行う。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を分析する。 ・表やグラフを活用し、成果を表現する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に向け計画を立て、実施する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決すべき問題を文章などの形で明確にできる。 ・問題解決のために必要な情報の収集・整理ができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③収集した情報等をもとに問題を的確に分析できる ④問題解決の経過や成果を表やグラフで表現できる <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤問題解決に向け計画を立て実施することができる

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のプロセス ・情報の分析 ・解決方法の考案 ・解決方法の選択 ・問題のモデル化 	1	◎教科書50～51ページの「問題解決のための4つのステップ」のうち「問題の発見～解決策の提案」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・期限までに課題シートを作成し、Classiを活用し提出する。 ・問題提起や課題解決方法が明確に示されているか。 	① ② ③ ④ ⑤
第2回		1	◎Classiを通じて配信するシートをもとに課題を設定し、解決に向けての取組を行う。		
第3回		1	◎毎時間の成果物は電子データ化し、Classiのポートフォリオやアンケート機能を活用し提出を行う。		

熊本県立第二高等学校 2 学年「GR・AS」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) テーマ研究オリエンテーション

2. 単元目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習設計マニュアル」と思考ツールを活用した探究活動のウォーミングアップを行う。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを読み、文章の要旨を理解する。 ・自分の経験と結びつけ 200 字程度の文章を作成する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りやこれまで学んだことから課題を発見する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①キラーリーディング（速読法の一つ）の手法を身につけ、テキストを理解することができる。 ②パラグラフィティングの手法を身につけ、持論を文章に簡潔にまとめることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③テキストの意図を読み取り、自分の経験と関連づけ発展した内容で表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④探究活動の趣旨を理解し、発見した課題を提案できる。

3 資料 「学習設計マニュアル」※1 年次に使用

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	キラーリーディング①（文章を短時間で理解する） 第10章『失敗に強くなる』	1	キラーリーディング① (1)「学習設計マニュアル」104-111pを読み、重要と思うキーワードにアンダーラインを引く。 (2)特に重要と思うワード10個を書き出す (3)(2)から、さらに有用なワードを3個抜き出す。自分の言葉に言い換えてもよい (4)(3)を元にこの章の内容を要約する。	ワークシートに下書きし、Classiアンケートで投稿。	① ③
第2回	パラグラフィティング① 自分と体験と結びつけるテーマ： 『失敗を成功に結びつけるには？』	1	(1)課題の理解 キラーリーディングで理解したことを元に、『失敗を成功に結びつけるには？』というテーマで、自分の体験を例に挙げ200字程度で表現する。 (2)パラグラフィティング（以下の通り） 四つの段落の短文を作成する。 ①一番言いたいこと ②その根拠(自己の体験) ③②を補う内容 ④全体のまとめ(①をより強く明瞭に)	ワークシートは各自GR, ASファイルに保管(評価はClassiの投稿のみ。ただし、不具合で入力できなかった場合ワークシートの提出可)	② ③
第3回	キラーリーディング②+パラグラフィティング② 『自然科学と社会科学の違い』について考え、自分自身を見つめる	1	(1)「学習設計マニュアル」47-51pの自然科学と社会科学の特徴の違いを意識して、キーワードにアンダーラインを引く。 (2)自然科学と社会科学両方の重要なキーワードをそれぞれ3つあげる (3)自然科学と社会科学の違いを一文でまとめる。 (4)質問 『あなたはどちらの学びが自分の考えた、学び方に会うと思いますか？』段落で教えてください	チェック：各クラスのGR, AS担当	① ② ③